

再評価結果（平成17年度事業継続箇所）

担 当 課 : _____
担当課長名 : _____

事業名	3・3・8号 白銀市川環状線（桔梗野）	事業区分	街路	事業主体	青森県
起終点	自：青森県八戸市大字市川町 至：青森県八戸市大字市川町	延長	2.73km		
事業概要：八戸市の外環状線として、東北自動車道IC及び国道45号と市街地中心部とを有機的に連絡する主要幹線街路であり、高規格道路と重要港湾八戸港及びその周辺の工業団地とを連絡できることから、地域経済の発展にとって必要不可欠な路線である。県道との立体交差を含む延長2.73kmの4車線道路である。					
H7年度事業化	H8年度都市計画決定 (H14年度変更)	H8年度用地着手	H13年度工事着手		
全体事業費	133億円	事業進捗率	56%	供用済延長	0km
計画交通量	20,100台/日				
費用対効果 分析結果	B/C (事業全体)	総費用 (残事業/事業全体) 51 / 124 億円		総便益 (残事業/事業全体) 278 / 278 億円	
	(残事業)	事業費：49 / 122 億円 維持管理費：2 / 2 億円		基準年：平成16年 走行時間短縮便益：266 / 266億円 走行費用減少便益：1 / 1億円 交通事故減少便益：11 / 11億円	
事業の効果等 八戸市の放射環状型交通体系の骨格をなす路線であり、隣接する道路事業（八戸環状線市川町工区）と相まって臨海工業地帯と内陸部工業団地とのアクセス機能が向上する。					
関係する地方公共団体等の意見 八戸市が当路線の整備促進を重点要望している。 三八地方土木振興会から早期整備の要望書が提出されている。					
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等 特になし。					
事業の進捗状況、残事業の内容等 橋梁部はすでに上部工に着手しており、阻害要因もなく進捗している。道路部は引き続き用地取得を進め、橋梁部の進捗状況を考慮しながら改良舗装工事を行う。					
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等 平成17年度に2車線の暫定供用を予定している。					
施設の構造や工法の変更等 特になし。					
対応方針	事業継続				
対応方針決定の理由	以上の状況を勘案すれば、当初から事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。				
事業概要図					

総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。